

## 1. 代ゼミ入学期編

① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふうに勉強していましたか？また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

暗記科目と思っていました。生物はもともと好きで、自分では得意だと思っていました。偏差値は65前後でした。

うん、偏差値65…得意と言っていいけれど、医学部狙いならもっとほしいところだね。

② まわりの友人たちなどはどんなふうに勉強していましたか？

代ゼミでは友人を作らなかったのわかりませんが、参考書を暗記している人が多かったです。友人を作らなかったのは、最後の一年と決めていたので、友人としゃべる時間あるなら勉強しようとストイックになっていたからです。ただ、今振り返ってみると、友人を作ると、いろんな大学に知り合いができるので、数人の友人は作ることをお勧めします。

そうなんだよね。友人を作ることの利点と欠点があるよね。「ともに励まし合う」なんてことができる一方で、「ただ、しゃべってしまって時間を失う」なんてこともある。それに、確かに受験勉強中は「自分1人だけ」でもいいんだけど、社会に出ると絶対に人とつながっていた方がいいからねえ。こればかりは何とも言えない。

③この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

第一志望は日本医科大学の医学部でした。私立の医学部に受かるのが目標でした。

よし、これから約1年、頑張っていこう！！

#### ④なぜ代ゼミを選んだのですか？

駿台・河合塾で浪人して駄目だったからです。そこで、次は代ゼミで頑張ろうと思いました。これには経済的な理由もあります(代ゼミは安いので)。駿台・河合塾時代は、「医学部志望だから難しい問題をたくさん解かなければならない」と思い、一番ハイレベルのクラスを受講していました。でも、ただ板書を写すだけの作業になっていた気がします。特に数学などは基礎がごっそり抜けていたので、成績はなかなか上がりませんでした。

そうなんだよね〜。「医学部だから」「東大だから」「京大だから」ということで、ハイレベルな授業を受けてしまう学生が多いんだよね。目指す大学がハイレベルなのであって、今の時点での自分はハイレベルではないわけです。自分に合ったレベルの授業を受けるべきですね。

代ゼミのいいところは、先生と生徒の距離が近いところです。講師室はとても入りやすいですし、先生も優しく対応してくれます。数学は授業後に先生が課題を出して下さったので、毎回解いて毎回添削して頂きました。生物もわからないところはすぐ質問しに行っていました。

そう。代ゼミの先生たちは面倒見がいい人ばかり。どんどん質問に来てくださいね。

#### ⑤なぜ「大堀の生物」を選んだのですか？

最初に、代ゼミのいろいろな先生の生物を受けてみました。その中で、大堀先生の授業が一番自分に合っていたからです。大堀先生の授業では、基礎用語から丁寧に解説してもらえます。他の予備校に通ったことがある人はわかるかもしれませんが、医学部志望向けの生物の授業は、医学部の問題を解くだけなんてこともあります。演習をすることで学力はある程度上がりますが、用語・定義を正確にわかっていないと、生物を得意科目にはできないと思います。

他の予備校のことはよくわかりませんが、どこの大学を受験するのでも、まずは基礎固めです。用語・定義、さらに「生命現象の正しい理解」が備わっていなければ、問題を解いても意味がありません。例えば、用語・定義・正しい理解は武器。そして問題練習は、その武器の使い方の練習です。つまり、用語・定義・正しい理解がないということは、武器もないのに、その使い方の練習をするという、意味のないことになってしまうのです。

そうした丁寧さに加えて、大堀先生は授業中に学生に質問するので、鍛えられと思いました。

そう、大堀の授業では学生にどんどん質問します。これは、「学生のレベルを知るため」「学生の理解度を知るため」「一方通行ではなく、双方向の授業にしたいから」「受け身にならず、授業に自ら参加してほしいから」「ほどよい緊張感を保つため」という理由からですが、たまにトンチンカンな答えを言ってくれる学生がいて面白いっていうのもありますね(^。^)

## ⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

この先生についていこうと思いました！ 大事なところを強調してもらえりし、聞き取りやすかったです。あとは、「俺についてこい！」という熱意を感じたからです。今、大学で受けている授業も、大堀先生にやっていただきたいくらいです。

「この先生だな！」っとピンときたらあとはついていきましょう。そう、「俺に任ろ！！」です。

## ⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

数学ができずに大学に受からなかったので、ほとんどの時間を数学に割いていました。

そうそう、それでいいんです。特にハイレベル大学ほど、英語・数学で決まります。英・数ができはじめて受験の土俵に上がれるのです。一に英数、二に英数、三四も英数、五に生物…くらいでちょうどいい。

## 2. 1 学期編

### ① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

授業中にあてられるので、誰よりも集中して授業を受けていました。あてられて答えられたときがうれしくて、毎週楽しみにしていました。

いいですね〜。大堀の授業スタイルが君にぴったり合っていますね。その他の学生さんたちもあてますよ〜。間違ってもいいですから答えてね〜。「間違えたら恥ずかしい」とか言っている場合じゃないですよ〜。受かりたかったら真剣に授業に参加しましょう。

## ② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

数学が苦手だったので、自習時間はほとんど数学にあてていました。生物は予習はせずに大堀先生の板書ノートを毎日帰りの電車の中で読んでいました。

さっきも書きましたが、それでいいんです。一に英数、二に英数、三四も英数、五に生物。

## ③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

偏差値は、1学期は65→2学期は67→直前期は63でした。

直前期に63…もう少し欲しいところですね。でも、くどいですが、英数で決まります。生物は足を引っ張らない程度にまで持っていけばいい…そのくらいの気持ちで勉強してください。「英数は無敵状態」を目指しましょう。

## 3. 夏期編

### ① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由は なんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

夏期直前に「ハイレベル生物」(演習の講座)をとることを決めました。直前期にあまり難しい内容をやるよりも、この時期に難しい問題に慣れておこうと思ったからです。

受けてみた感想です。時間をかけて予習、復習できたのでこの時期にハイレベル演習をとって本当によかったです。ただ模試の成績が60に達していない人は、この講義をとっても消化不良になるかもしれません。

夏期講習会の良さは、まだ時間に余裕があること。自分の不安があるところにじっくり時間がかけられる。これが夏期の使い方。うまくやっていますね。順調です。

それと、やはり自分に合ったレベルの講座をとりましょう。どの講座がいいかは、代ゼミに来ている学生は大堀本人に是非聞きに来てくださいね。

## ② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

生物に多くの時間をさいてももったいないので、数学や英語を勉強して疲れた時に、ノートを暗記するなどしていました。

大堀先生の板書ノートに自分が調べたことを書き込んでオリジナルの参考書のように使っていました。

2学期の先取りは特にしませんでした。

「生物に多くの時間を割いてももったいない」、いいですね、その考え方。そうです。英数をやってください。

生物の偏差値が60の後半に達している学生は、2学期の先取りは要らないでしょう。

## ③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

成績が上がってきたので、大堀先生を信じて大丈夫だと確信しました。

そう。「あっ、この先生だな」と感じたら、その先生についていきましょう。そう、自分の直感を信じましょう。「あっ、この人だな！！」…ですよ。

# 4. 2学期編

## ① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

基礎知識をしっかりつけてから、大堀先生の「ハイレベル生物(夏期の演習講座)」を受講したので、難しい問題は解けるようになっていたという自信がありました。

うん、自信がついてきたのは、生物の学習が順調な証拠。油断しないで頑張れ。

## ② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうか？

どちらも同じように、毎日電車の中で大堀先生の板書ノートを読み込んでいました。また、医学部は遺伝と計算問題が頻出という事実があります。遺伝問題、計算問題は参考書をそれぞれ買って独自に演習しました。自分は、一つの参考書にいろいろな単元があるものよりも、遺伝だけで一冊書いてあるような参考書が好きだったのでそれを使っていました。参考までに自分がいいと思ったのは、駿台の大森先生が執筆している、遺伝の参考書と計算問題の参考書です。

今では遺伝はあんまり出ませんが、遺伝子(DNA・RNA)を伴った遺伝の問題は出ます。駿台の大森先生、有名ですよ。自分に合った参考書が見つかってよかったです。

## ③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

10月に夏期講習の問題をもう一度解いてみて、だいたい解けたのでそれ以降はやりませんでした。

だいたい解けたのは、生物が「わかったつもり」ではなく「本当に分かってきた」から。いい調子です。

## ④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？どのようなことをしましたか？

センター試験は受けていません。

## ⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などはありましたか？

成績が下がってきたのですが、あまり気にしませんでした。生物への不安というよりも、本当に医学部に自分が受かるのか不安でした。

そうだね。生物はいいんです。足さえ引っ張らなければ。この時期、だんだん不安になってきますが、それに打ち勝っていくしかないのです。頑張れ！！

## 5. 冬期編

- ① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？  
いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った  
理由はなんでしょう？その講座をどのように活用しましたか？

冬期講習は受講しませんでした。

講習会は必須ではありません。代ゼミでは、どこかの予備校のように「取れ、取れ」と強制しません。でも、「おっ、これは活用したい」というものがあつたらぜひ受講しましょう。きっとあなたの合格の一助になりますよ。

- ② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

板書ノートをひたすら暗記していました。それと、医学部は計算問題がよくでるので計算問題を集めた参考書を買って演習していました。

いいですね。大堀の板書は参考書に匹敵します。上手く活用できているようですね。

- ④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

1 1月の模試は成績が下がりましたが、周りができるようになってきたからだろうと思いきり気に留めませんでした。

そう。この時期は、夏で部活を引退した現役生の成績が伸びてくる時期。従って、相対的な成績を表す偏差値は下がるのです。気にしない、気にしない。

- ⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

私立医学部専願だったので受けていません。

## 6. 直前期編

### ① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

大堀先生の板書ノートをひたすら読み込みました。

大堀の板書を本当につかいこなしていますね。嬉しい限りです。

### ② 何大学の何学部を受験しましたか？

- 久留米大学(医)…正規合格
- 金沢医科大学(医)…正規合格
- 愛知医科大学(医)…補欠合格
- 日本医科大学(医)…一次不合格
- 杏林大学(医)…一次不合格
- 東海大学(医)…二次不合格

おお～、いろいろ合格したな。やったね～(^o^)/

### ③ 受験の前日・当日にやったことは？

私立の医学部を受験する場合、連日受験になることも多いので、8時間は寝るようにしていました。当日は試験開始3時間前には起きるようにしていました。

そうなんだよね。私立受験って、連日になって本当大変。学力だけでなく体力勝負にもなってきます。8時間睡眠、正解でしたね。体力が回復しないと、せっかくついた学力も発揮できませんからね。

## 7. その他

### ① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

高校生の頃です。もともとカッコいい職業だなと思ったのがきっかけです。そして、祖父が末期がんで亡くなったことも医学部受験を決意するきっかけになりました。

そうですね。身近な人の死をきっかけに医学部を目指す人もいますよね。

また、周りの医大生は口に出して言いませんが、将来経済的に苦労しないことや、社会的地位が高いことなどは理由の一つでもあります。

たしかに医者は潰しがききます。くいつぱくれはないでしょうね。でも、変化の激しいこの時代、どうなるかわかりません(←これは大堀自身にも言えますね(^。^ ;))

あと、将来モテそうだなって思っていました。

そう、医者は抜群にモテます。でも、医者専門に狙ってくる女子がいることも事実です(そういう人知ってま〜す)。その女性は、「あなた自身のことが好き」なのか「医者が好き」なのか、よ〜く見極めてくださいね〜(^o^)/ もっとも「医者が好き」をうまく利用する男もいますけどね(そういう人も知ってま〜す)。どっちもどっちだな(人間も所詮は生物だ)。

### ② スランプになった時期はありますか？またそれをどういうふうに克服しましたか？

特にありませんでしたが、今年だめなら医学部は諦めようと思っていたので常に追い込まれていました。

うん、人それぞれだと思うけれど、大堀としては「1つのことは3年以内で決めるべき」と思っています。3年で決められなかったら、それとはまず距離を置いて、別のことをしてみた方がいいかな、と。まあ、合格したので、関係ないか。

### ③ ストレス解消法などありましたか？

漫画は月に一冊くらい読んでいました！

息抜きは必要。カラオケもよし、友達と遊ぶのもよし。自分に合った解消法を見つけましょう。これは社会人になってからも言えること。大堀は、走ったり筋肉トレーニングしたりしたなあ。

## 8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？

### それから後輩たちへの応援メッセージなど

大堀先生の講義でやる「大きさ比べ」はとっても役に立ちます。代ゼミを卒業してから数年経ちましたが、「大きさ比べ」は体に染みついているのでスラスラいえます。医学の授業でも、赤血球・白血球の大きさなどは把握しておく必要があるのととても役立ちます。最近、耳鼻科の授業があったのですが、耳の構造などは国家試験でさえも高校生物レベルなので、ちゃんと生物を学んでおけば、医学部入ったあとで楽ができます。医学部は生物学とリンクしているところもたくさんあるので、物理選択の人より、理解がしやすくて楽です。

そう思うんですねえ。医者って、とにかく覚えることだらけだから、暗記が好き、暗記が得意、つまり、生物で受験してくる学生の方が向いていると思うんですけどねえ。物理ができる学生って、数学もできる学生が多い。つまり、頭がいいんだけど、あんまり暗記好きじゃないでしょう？ それに、医者って、頭のよさよりもコミュ力の方が重要な気がするんだよね〜。もちろん頭が悪い人が医者になったら、それはそれで恐ろしいんだけど。研究者になりたいという医学部生は物理受験の方がいいかもしれないけど、患者さんと向き合う臨床医になりたいという医学部生は、生物受験の方がいいと、大堀個人は思っています。

今は、臨床実習に向け最後の座学の講義を受けており、具体的には、眼科、皮膚科などのマイナー科目を学んでいます。

私は、祖父を末期がんで亡くしたので、同じように苦しむがんの患者さんを治せる外科医を目指して勉強しています。

医学部というと皆さんは、ずっと勉強をしているイメージかもしれませんが、自分が通う大学は医学部の中でも進級が緩い大学なので、テスト前さえしっかり勉強しておけば、6年

生の夏まで部活をすることができ、長期休みはいろんなところを旅行することもできます。苦しい予備校生活から解放された学生生活の喜びは格別です！あと、医大生というと私立であっても周りからすごいチャホヤされてうれしいです。

一番嬉しかったことは、合格が決まった時に、涙を流して喜んでくれた両親をみたときです。自分が合格したことよりも、親が喜ぶ姿は本当にうれしいものです。人生の中でも、なかなかできない経験なので、育ててくれた親への感謝を大学合格という形にできたら幸せだと思います。

**いやいや、本当によく頑張りました。合格おめでとう(^o^)/**

ぜひ、教室の一番前の席に座って、大堀先生に一年間とことん鍛えられてください！頑張ってください！医学部志望の人も今年が最後と思って勉強してください！

**さあ、君たちもこの先輩につづけ～！！ 目指せ医学部！！**

